

16 畜産経営体生産性向上対策

【令和4年度予算概算要求額 1,300（1,300）百万円】

＜対策のポイント＞

酪農・肉用牛経営の労働負担軽減・省力化に資するロボット・AI・IoT等の先端技術の導入や、高度かつ総合的な畜産経営の改善に向けたアドバイスを提供するためのビッグデータ構築等を支援します。

＜事業目標＞ [平成30年→令和6年まで]

子畜の出生頭数の増加（乳用牛産子：72.0万頭／年→74.4万頭／年、肉用牛産子：51.7万頭／年→54.7万頭／年）

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

- 1. 畜産経営の生産性向上対策**
- 畜産経営の省力化・生産性向上を図るため、以下の取組を支援します。
- ① 搾乳ロボット・発情発見装置等のICT関連機械の導入
 - ② ICT関連機械の規格に合った家畜生産等の推進
- 2. 全国データベース構築**
- 生産関連情報を一元的に集約する全国データベースの構築及びデータベースに基づき高度かつ総合的な畜産経営の改善に向けたアドバイスを提供する体制の構築等を支援します。

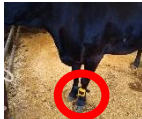
1. 畜産経営の生産性向上対策

①省力化・生産性向上につながる機械・装置（各種データ取得が可能）の導入を支援

発情発見
(人工授精)

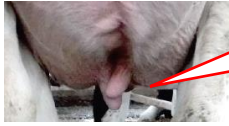
分娩監視

飼養管理(搾乳、給餌等)



発情発見装置 分娩監視装置 搾乳ロボット ほ乳ロボット 自動給餌機

②ロボット搾乳不適合家畜等に関する調査



搾乳ロボットに適する乳房形状 搾乳ロボットに適しない乳房形状

乳頭が交差し搾乳ロボットが器具を装着できない

